

【耕畜連携】（兵庫県加西市 計画的な新技術の導入による飼料作物生産の取組）

【農事組合法人 あぐりーど玉野】

- 農事組合法人あぐりーど玉野は、農地の区画整備とほ場の一元管理を目的として、町内の約100戸の農家により1996年に設立された組織を母体として、2010年に法人化。
- 大型機械の共有と農作業の共同化などを図るとともに、設備投資を継続的に行うことにより、収益の向上を図っている。
- 水田の水管理装置などのスマート農機具を導入するとともに、一部作業を他組織に委託することで労力とコストを削減して「儲かる農業」を実践し、この取組を動画などを用いて発信。
- ほ場管理システム「ザルビオ」で土壌成分管理を行い、畜産農家のバイオマスプラントから発生する消化液を有効活用するとともに、不足する肥料成分をドローンで散布。
- 飼料用米及び稲WCSの生産をドローンを用いた直播などにより効率的に行うとともに、青刈りとうもろこしについては、播種作業のみ行い、収穫調製は畜産農家に委ねている。



図2. 取組面積の推移

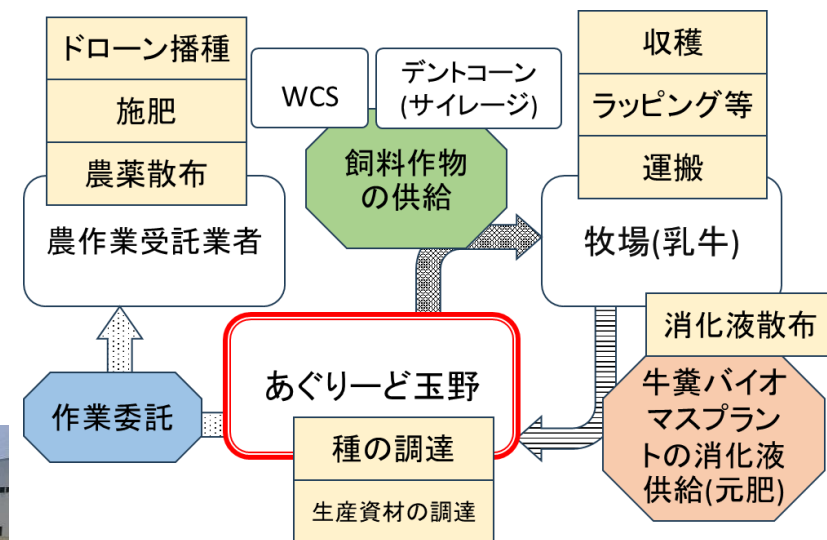
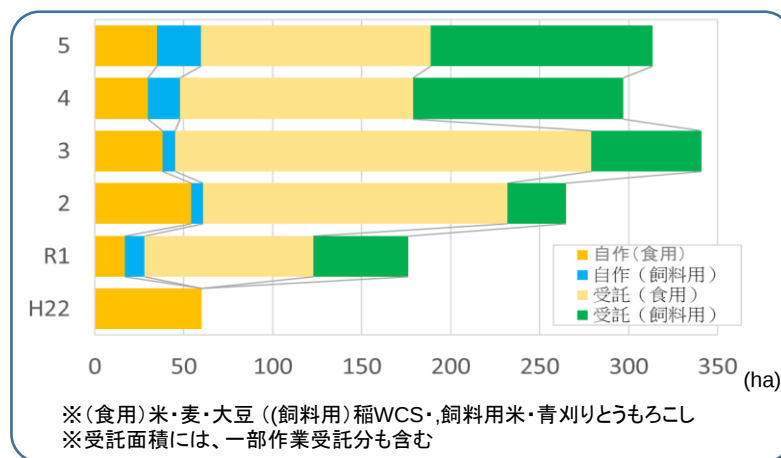


図1. 耕畜連携に係る作業分担

写真: 消化液の活用等、畜産農家との連携

